

# 都合よく結果ばかりを求めない！

万代 栄嗣



梅

雨入り宣言！がなされた割には、あまり雨が降りません。特に西日本では雨らしい雨のないまま10日ほどが過ぎ、ダムの貯水量が気になる状況になってきました。このままいくと、9月あたりに気象庁が今年の夏を振り返って、梅雨入りの時期を修正することになるかもしれません。十分な知識と技術を持ち合わせているようで、どうも私たち人間の考える通りにはいかないのが人生の難しさです。

先日、日本高校野球連盟の会議で、来春の選抜甲子園大会から、選手たちの負担軽減のため、延長タイブレーク制が導入される方針が確認された、とのこと。詳細は今後の会議で決定されるようですが、今、一番有力な案は、9回までに決着が付かず、延長戦に突入した場合、13回以降からは双方のチームが、無死1、2塁から攻撃を開始する、というもの。点が入りやすくなる状況を意図的に作って、試合の早期決着を図ろうというものです。背景には、まだまだ成長途上にある高校球児たちを過度の疲労から守ろう、怪我や故障の危険性を少しでも回避しようという、今どきの考えがあります。

それはそれで、わかるのですが、同時に、スポーツの世界に、すぐに決着が付いて、わかりやすい明確な結果が常に出て欲しいと期待するのも、ちょっと安易な考えのように思えてなりません。実力が伯仲して、試合の流れがどちらに転ぶか全く予断を許さないヒリヒリした緊張感や、胃の痛くなるような緊迫感などは、むしろスポーツの醍醐味であって、それをなくして決着を付けよう、というのは少し残念なことだと思います。もちろん、選手たちに怪我をさせても、とは思いませんが、実力が拮抗している者同士の好勝負を、もっと楽しむ権利が選手たちにもあると思うのです。

私が小学生で、ちょうど野球が大好きになった頃の夏の甲子園大会決勝を忘れられません。松山商vs三沢の延長18回0-0、そして再試合…といったドラマは、まず起こることがなくなる訳です。あれから50年近く経った今でも、選手たちの名前を覚えてますし、延長に入ったのノーアウト満塁、0ストライク3ボールからの井上明投手の1球1球に、血の気を引いたまま応援していた感覚を今でも思い出します。

あなたの理想や理屈通りに答えが出ないからといって、焦りは禁物。自分に都合の良い答えだけを求めていると、人生が薄っぺらになります。時には延長戦も持久戦もあるでしょう。でも、簡単な答えで満足せず、共におられる主を信じて、粘り強く戦ってまいりましょう。本当に価値ある答えは、神様から与えられます。

## recommend

### おすすめ情報

おすすめ



#### 片目の王

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1500円)

ごく普通の人が、偉大なことを成し遂げるための9つのポイントを伝授。現状を打開する方法を見出せます。

プレゼントに



#### この子だれの子

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
いのちのことば社(1500円)

ビル・ウィルソン師の生い立ちから、働きの原動力、現場の状況を知ることのできる感動の1冊。